千鳥淵ちどりがふちは小督桜こがうのさくらの西式町ばかりに巖あり。「これを身投石みなげいしといふ」淵は南の岸のもとなり。横笛は瀧口に離れて此所に身を沈し由、盛衰記せいすゐきに見えたり。「平家物語はこれに違す、前にくはし」